

「大腸癌肝転移症例における化学療法後肝切除の安全性と治療成績」に関する研究

1. 研究の対象

2008年1月～2018年12月に当院で初回肝切除を施行された大腸癌肝転移症例

2. 研究目的・方法

大腸癌肝転移の外科治療において、集学的治療は欠かせないものとなっています。同時に術前化学療法による背景肝の肝障害と肝再生の障害が注目されています。化学療法後に肝切除術を受けた大腸癌肝転移例の治療成績と安全性について、診療録を元に後方視的に検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、手術治療歴、手術以外の治療歴、生存期間 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先・研究責任者：

磐田市大久保 512-3 TEL 0538-38-5000

磐田市立総合病院 消化器外科 神藤 修